

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2021年12月13日

事業所名：のびのび

サービス種類：放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	設置基準を大きく満たしています。集団活動や遊びの主体となる部屋と個別プログラムに取り組める部屋を分け、活動に応じて利用していただいています。		継続して取り組む。
	2 職員の適切な配置	基準より多く人員配置を行っています。児発管1名、保育士3名、心理担当1名		職員を増員し、より良い療育を実施できるよう職員配置を行います。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	情報伝達においては、写真や絵カード・文字を使用して、本人の特性・理解能力に応じて理解しやすいように工夫しています。トイレ等についてはバリアフリー化は出来てません。	・見学の時に見させて頂いたきりなので中の様子等を又見てみたい。 ・本人がどんな風にして生活しているか心地よく過ごしているのか直接見られず分かりづらい。本人の様子では落ち着いていられる場になっていると思う。	次年度からモニタリング時等、保護者が来園されたときに見学の機会を設けます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃に加え、事業所内の各所消毒を実施しています。室内の温度調節を行いながらこまめに換気をして清潔な空間を保てるようにしています。		継続して、生活で心地よく過ごせる環境作りに努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼や会議を通して日々の支援の振り返りや、支援課題・業務の改善について検討しています。		継続して取り組みます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度、第三者評価は受審しておりません。		受審の計画を前向きに検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修が難しい時期なので、オンライン研修の利用、事業所内の研修を通して資質の向上に努めています。		今後も感染状況を確認しながら研修機会の確保に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用者の現状や、サービス担当者会議で挙げた保護者のニーズ・相談支援員とのやり取りで得た情報をもとに、計画を作成しています。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	必要に応じ、個別・集団での目標設定を行っています。	・お願している支援(PC)についてもとても丁寧に行って頂いています。	次年度はモニタリング前にヒヤリングシート等の活用により、本人、保護者のニーズの聞き取りを更に強化していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の現状やニーズに合わせて到達目標や項目を設定の上、目標達成に向けた課題設定をし、具体的な支援内容を設定しています。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画書に基づいた支援を実施しています。		継続して取り組みます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	その都度支援課会議、活動プログラムを決定しています。		継続して取り組みます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇は、長時間の利用となるため、集団・個別の活動を取り入れ、余暇活動の充実や勉強面でのサポートも行っていきます。	・季節の行事等とても楽しんでいる様子です。	継続して取り組みます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節行事や、戸外の散策、壁面製作、調理実習などを取り入れながら、プログラムを柔軟に設定しています。		継続して取り組みます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼にて実施しています。		継続して取り組みます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	翌日の朝礼にて全職員と振り返りの内容や支援内容の検討等、実施しています。		継続して取り組みます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別支援計画に沿った記録を残しています。支援の検証、改善については朝礼等でも話し合っています。		継続して取り組みます。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半期に一度モニタリングを実施し計画を見直しています。現状9月末は済み、次回は3月に予定しています。又、利用者、保護者のニーズに合わせて見直し検討を行います。		継続して取り組みます。	
1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	適任者が参加しています。代理者が出席する場合は事前に資料作成、引き継ぎをします。		継続して取り組みます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	利用を開始される際には、相談支援事業所を通じ所属されていたこども園又は学校担当者へ情報提供を依頼し、支援の内容や状況の把握に役立てています。		継続して情報共有に努めます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	相談支援事業所を通じ情報提供を行う予定です。		今年度の卒業生2名について作成致します。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	毎月の調整会議において情報共有や利用調整を行っております。感染対策によりオンライン研修にも参加しています。職員研修として児童発達支援センターに見学を実施しました。		次年度も専門機関と連携していきます。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状実施していません。		次年度も実施予定はありません。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	季節行事(ハロウィン)は地域住民に参加して頂き実施しました。		来年度も実施予定です。
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時や計画変更時等、必要に応じ丁寧に説明しています。	
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		一人ひとりに対して説明を行いました。説明にわかりにくい点などがあれば相互的に確認できるように努めました。		継続して取り組みます。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		連絡ノートで伝えたり、利用時の迎えの際に事業所での支援による様子や変化を口頭にて説明を行いました。事業所と保護者とのペアレント・トレーニングの認識の差が課題であり共通理解の方法等の課題があります。		充実したペアレント・トレーニングの実施を検討します。
4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		連絡ノートで利用時の様子を伝え、必要な際には迎えの際に口頭にて連絡しています。課題の内容等によっては保護者の希望があれば面談の機会を設け丁寧に説明しております。		継続して取り組みます。
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		相談があった際は口頭により助言等を行っています。また事業所で取り組める内容に関しては共通認識を持ちながら取り組み、結果や変化の様子を伝え保護者との情報共有をはかっています。	・迎えの時に助言等頂く事はありますが定期的ではない。	次年度は定期的な面談の場面を作ります。
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		コロナ禍で実施していません。現在のところ実施の見通しありません。	・コロナだったためなかつた事での意見はないです。	感染状況を確認しながら実施を検討していきます。
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		今年度苦情はありませんでした。苦情を受け付けた際の対応等につきましてはマニュアル等整備しており、運用していきます。		継続して取り組みます。
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		連絡ノートで利用時の様子を伝え必要な際には迎えの際に口頭にて連絡しています。より情報の共有を求められる保護者に関しては面談の時間を設け丁寧に説明しております。		継続して取り組みます。
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		行事等簡易な情報の発信に関しては連絡ノートにて示しています。事業所独自に通信の発行や月ごとの活動写真を掲示し保護者に定期的に発信しています。		今後はホームページも活用し情報発信を行っていきます。
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		事前に説明し承諾を得るとともに、外部発信(チラシなど)の際には、改めて承諾をとるようにしています。		継続して取り組みます。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各対応時のマニュアルを整備しています。職員間への周知は会議などを通じて発信しています。保護者への周知につきましては口頭や案内文などにて都度伝えていきます。		継続して取り組みます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災想定訓練を実施。定期訓練として実施し月一回定期的に開催予定で検討しています。		継続して取り組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	定期的に職員研修を設け職員間の虐待及び人権に関する意識を向上できるように取り組んでいます。		継続して取り組みます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当児童はありません。実施の際は児童、保護者様との確認の元、計画の作成を行い適切な対応を行っていきます。		継続して取り組みます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当児童はありません。実施の際は医師の指示等に沿って適切な対応を行っていきます。		継続して取り組みます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった際は、翌朝礼にて発信し都度職員間で情報、対応等共有しています。また今後は定期会議を開催し、記録から振り返りを行い事故防止に努めています。		継続して取り組みます。
保護者様より頂いたご意見・ご返答				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもその時期のイベントや子供が楽しめる企画をして頂きありがたいばかりです。子供自身が通所する事をとても楽しみにしていてスタッフの方がとても子供に寄り添って頂いていると感じています。送迎の時に息子のその時々様子のやり取りが出来ていて保護者の立場からとても満足出来ている療育施設だと思います。 ・個人情報の取り扱いのところで私事で家族の病気等で大変なため、そちらの先生に聞いて頂いた。それは嬉しかったのだが、他事業所でその事を話してないのに他事業所の先生から探る様に家族の事を問われて、そちらの先生が他事業所にもられたのか分からないがとても傷ついた。 ・いつも利用を楽しみにしている様です。ありがとうございます。 ・送迎サービスがあればとても嬉しいです。 ・毎週楽しみに利用させて頂いています。ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。 			